



近畿地域づくりセンター

会社紹介





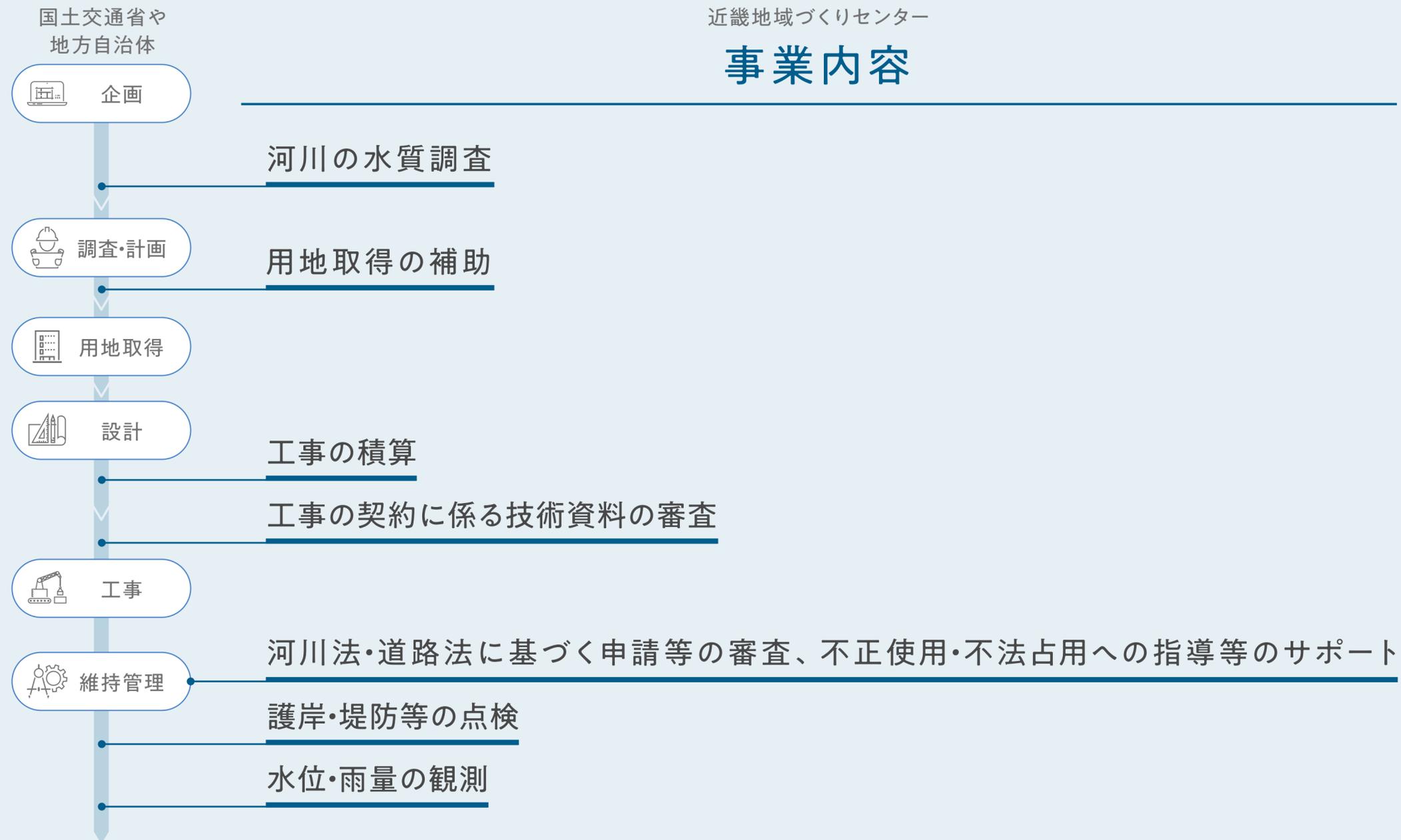
近畿地域づくりセンター

安全で 活力ある近畿へ

私たちは、国土の利用・整備又は
保全の事業を推進することで、地域の発展、
安全・安心な社会づくりに貢献します。



国土交通省や地方自治体が担う、道路・河川のインフラ整備に係る各フェーズのサポートを行っています。



法人概要

国土の利用、整備又は保全の事業を支援することで、地域の発展、安全・安心な社会づくりに最善を尽くします。

名称	株式会社近畿地域づくりセンター
本社所在	大阪府中央区大手前1-7-31 OMMビル
会社設立	平成25年7月(2011年)
売上高	約60億円(2020年度)
従業員数	約470名
拠点	12支店・1研究所
主な取引先	国土交通省近畿地方整備局
業種登録	建設コンサルタント登録/測量業者登録/ 補償コンサルタント登録
認証取得	ISO9001(2020年12月22日 再認証) ISO/IEC27001(2020年12月22日 再認証)

- ① 本店
- ② 姫路支店
- ③ 福井支店
- ④ 神戸支店
- ⑤ 枚方支店
- ⑥ 福知山支店
- ⑦ 豊岡支店
- ⑧ 京都支店
- ⑨ 和歌山支店
- ⑩ 紀南支店
- ⑪ 大阪支店
- ⑫ 奈良支店
- ⑬ 滋賀支店
- ⑭ 水環境研究所



河川の管理

安全で快適な暮らしの実現のため、河川・海岸区域の定期的な見回りや点検を行います。また、河川が適正に利用されるよう、河川管理者が行う許可・認可等の審査・指導のサポートを行います。

水位などの観測

流域住民が常に正確な河川情報（雨量・水位等）を入手し、災害発生時においても必要な情報を発信できるよう、降雨量・水位・水質自動監視装置等を定期的に点検し、観測機器の動作確認、観測データの回収を行っています。

Staff's Voice /

河川流域の水位、雨量、水質や地下水等の観測機器の点検や、計測したデータに異常値が無いかの確認、データの登録作業等を行っています。

枚方支店 小井戸 拓



道路の管理

道路を広く美しく安全にするため、道路管理者が行う道路法に基づく各種申請等の審査・指導、道路の不正使用・不法占用の指導取締り、関連する調査や資料整理等のサポートを行います。

Staff's Voice /

道路に突出した看板や、大型車両の道路走行時における安全性の審査、沿道地との境界の相談に対応する仕事です。
先輩のサポートもあり、安心して仕事に取り組んでいます。

紀南支店 **山本 万結**



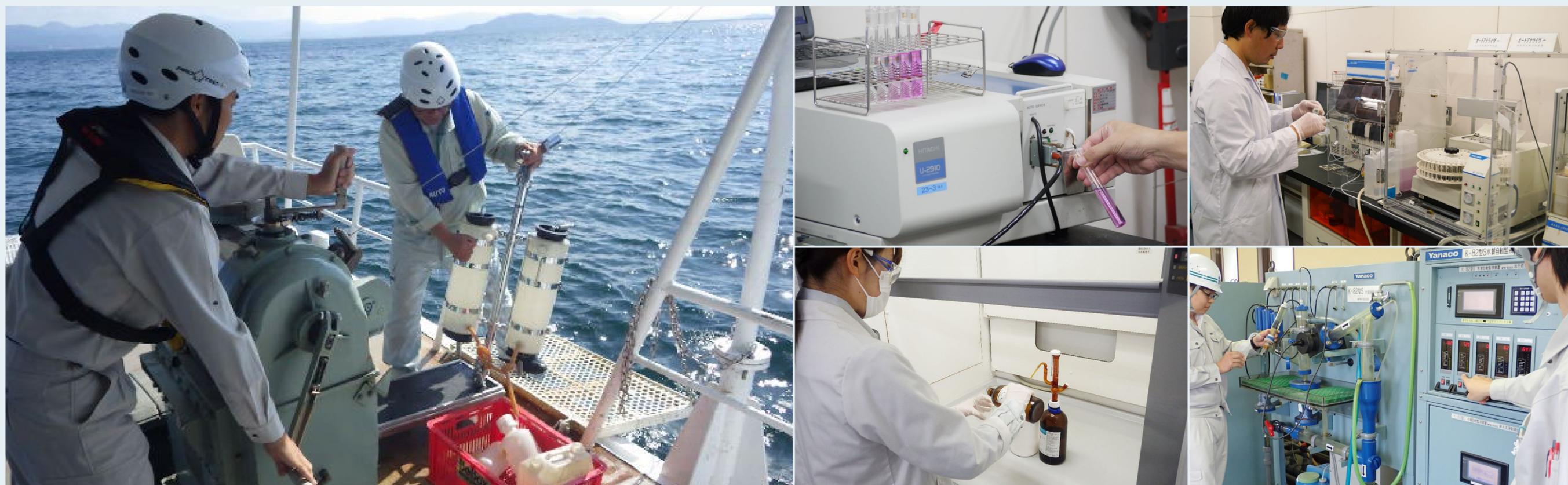
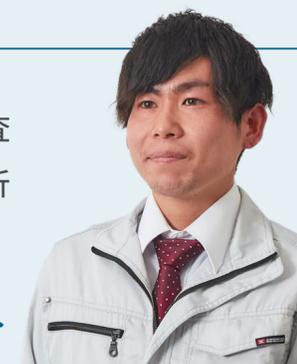
水質の調査

河川や湖沼は、水遊び等の親水活動や美しい景観を構成する重要な要素となるため、水質を保持・改善できるよう、河川、ダム、周辺地下水の水質調査やデータ管理を行います。

Staff's Voice /

水環境研究所では近畿管内の河川、湖沼の水質及び底質の調査を行っています。仕事内容としては採水や分析があり、分析項目はpHやDOなど約100種類あります。

水環境研究所 今村 陸人



工事の積算

公共工事の発注を円滑に進めるため、発注者(国・自治体)が工事の適正な予定価格を算出できるよう、設計コンサルタント会社が作成した図面や数量計算書等の設計成果をもとに、工事の積算(価格の算出)に関する基礎資料を作成しています。

Staff's Voice

設計図面や計算書のチェックを行い、工事費の算出を行っています。
入社して間もないので慣れない業務に悩むこともありますが、先輩方のサポートもあり、少しずつですが成長を実感しています。

設計積算部 田中 希来里





RECRUIT

仕事の成果や適性を評価し、 役割に応じた階級を設定

職員の目指す将来像に向けて、その目標に向かって目指す道を選択し
ステップアップしていくことができます。

監督職に上がるときには、
将来組織全体のマネジメントを担う「ゼネラリストコース」、
特定業務での高度な専門スキルを発揮する「エキスパートコース」の
いずれかに本人の意向や評価に基づき移行します。



磯崎 輝晴 (58歳) 支店長
所属部署の責任者。
部署内の管理だけでなく、
部署間の調整、組織全体の
マネジメントに関わる。



金子 健士 (41歳) マネージャー
プロジェクト、人員管理、
環境整備等、所属部署全体の
マネジメントを行う。



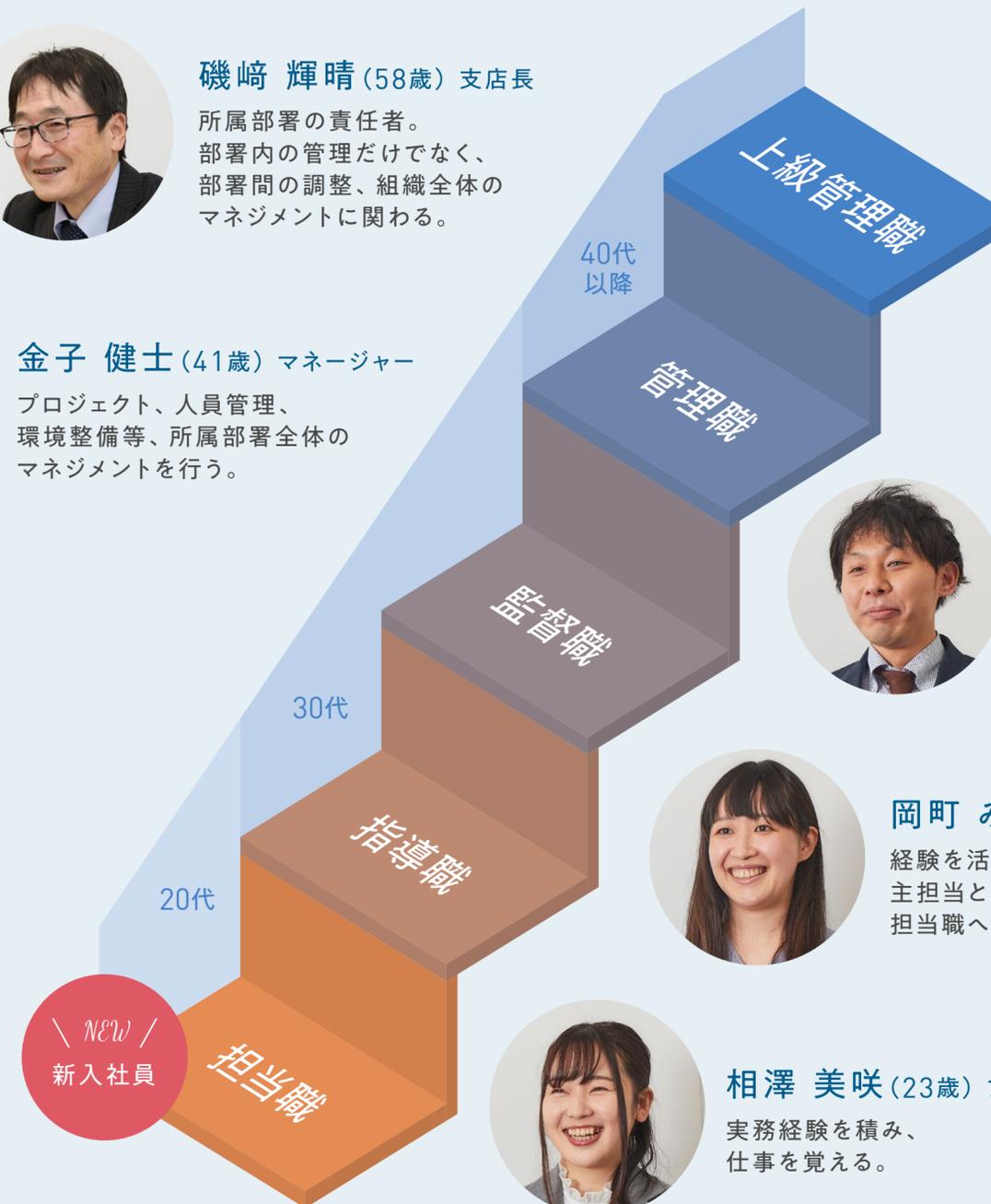
**小室 篤史 (35歳) アシスタント
マネージャー**
リーダーとしてプロジェクトを管理。
併せて所属部署のマネジメントを
サポートする。



岡町 みちる (31歳) チーフ
経験を活かし、プロジェクトの
主担当として従事。
担当職への指導も行う。



相澤 美咲 (23歳) アソシエイト
実務経験を積み、
仕事を覚える。



スキルアップの取り組み、教育・研修体制

能力向上のため、 社内研修の充実化を図っています

業務の確実な履行と品質確保・向上を図るため、
職員のスキルアップに向けた各種研修・講習会を実施しています。
また、技術士等の資格取得を目指す職員に対して講習会を実施し、
資格取得の支援を行っています。

資格取得情報(2018-2020)

- 技術士第二次試験(技術士) 2名
- 技術士第一次試験(技術士補) 12名
- 土木学会認定上級土木技術者 1名
- 土木学会認定1級土木技術者 6名
- 土木学会認定2級土木技術者 4名
- 1級土木施工管理技士 6名
- 2級土木施工管理技士 1名
- 環境計量士 1名
- コンクリート技士 1名
- 河川点検士 30名

現場技術研修



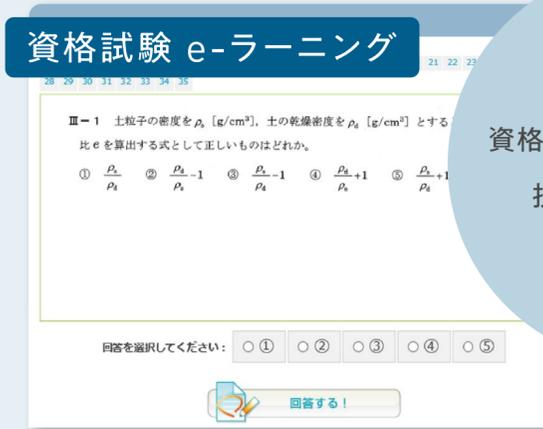
Web会議システム



実機を用いた指導



資格試験 e-ラーニング



社内研修や
資格応援サイトを活用し、
技術士二次試験に
合格しました!



企画部 小室 篤史

同期や年の近い先輩・
後輩と合同で受講する研修や、
専門技術を学ぶ講習会等、
幅広い研修内容と
なっています



事業第一部 藤本 莉奈

研修動画掲載コンテンツ



資格応援サイト



社内コミュニティ(社内報)

若手社員が中心となって、 社内向けの広報誌を作成しています。

各部署の様子や新入社員の紹介、社員の結婚・出産のお祝いコメント、
地域のお役立ち情報などを配信。



総務部 鎌田 友美

社内報の制作に
関わったことで、
通常業務の打合せなどでも
積極的に意見を言えるよう
になりました!



同年代の社員と
案を出し合い、協力しながら
社内報を制作しています



設計積算部 加藤 桃子

通常の業務では
関わることのない他部署の人と
交流を深めることができる
良い機会になっています!

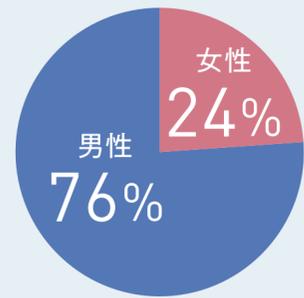


企画部 林田 真穂



数字で見る組織情報

Q. 男女の割合は？



Q. 3年後の離職率は？
(2014~2018年度入社)



Q. 女性社員の
産休・育休取得率は？



Q. 残業の月平均時間は？



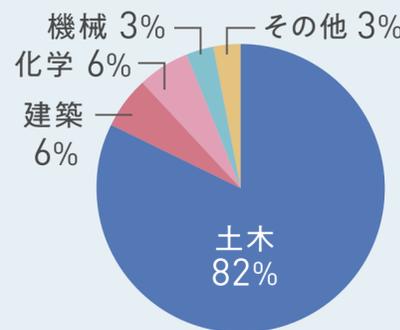
Q. 有給の年間平均取得日数は？



Q. 直近5年間の採用人数は？



Q. 技術職の
専攻は？
(過去5年間)



Q. 出身学校は？
(過去5年間)

- 1位 近畿大学
- 2位 摂南大学
- 3位 大阪工業大学
- 4位 大阪産業大学
大阪市立大学
関西大学
神戸工業高等専門学校
福井工業大学

入社5年目までの社員にアンケート!!

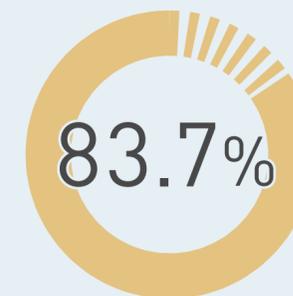
1. 社内の
雰囲気は？



2. 技術職の
デスクワーク
の比率は？
(ひと月あたり)



3. 満足度



社員の声

- 業務・研修等を通じて、自らが近畿の発展に貢献できる会社だと実感している。
- 休暇が取りやすく、福利厚生も充実しており、会社全体の雰囲気も良い。
- 研修等で部署をまたいだ交流がある点が良い。
- 分からないことがあれば先輩が丁寧に教えてくれ、いつでも質問しやすい雰囲気の職場。



— 若手社員への教育に力を入れています

私は河川系の業務を統括する立場として、業務上の課題解決や新たな技術の導入、社員研修や情報交換の場づくりを行っています。特に、研修には力を入れており、今の時代に合った教育方法を模索しています。土木と聞くと古いイメージを持たれる方も多く、「背中を見て学ぶ」という時代もありましたが、今はそんな時代ではありません。先輩の知識や技術を、一人ひとりに丁寧に教える機会を作っています。浅く広く、深く狭く、どんな内容の研修が響くのか試行錯誤の毎日ですが、変化する世の中に合わせ、研修の内容も常に新しくしていきたいと思っています。



— 育休復帰後も、経験を活かせる職場で頑張っています

入社時は設計積算部(大阪)で工事費用を算出する積算技術の業務に携わっていたのですが、結婚・出産を機に住まいに近い神戸支店で働くようになりました。神戸では、今までの経験を活かせる技術審査の業務を行っています。結婚や出産など様々な事情で、働く場所や働く時間が制限される時でも、会社に相談すればフレキシブルに対応してくれます。両立の難しさを感じる時もありますが、同じ立場の女性社員もたくさんいるので、励まし合いながら乗り越えることができます。



— 技術系社員の方とも一緒に仕事をしています

普段は社内の健康診断や引っ越しの手続きなどの総務事務を行っているのですが、1年ほど前から新規事業を開拓するためのプロジェクトに参加しています。様々な部署から人が集められたプロジェクトチームで、私は会議の準備や議事録の作成を担当しています。メンバーとして活動することで、部署を越えたつながりができ、今まであまり触れることがなかった技術系の知識も学ぶことができました。技術職の新たなチャレンジや時代に合わせた進化を間近で感じた経験は、今後の総務業務にも活かしていきたいと思います。



— 他分野の学部からの入社ですが、個人のレベルに合わせた教育を行ってくれます
私は大学の学部が土木系ではなく、専門知識が全くない状態で入社したのですが、先輩が私のレベルに合わせて教育してくださったのでとても助かりました。先輩や上司、皆さんフレンドリーな方ばかりで、会社での時間はとても過ごしやすいです。素人の私でしたが、その人に合わせた研修を行ってくれ、少しずつ専門知識が身につきました。今後は「技術士補」の資格を取ってさらに専門性を高め、私に教えてくれた先輩たちのように、後輩に優しく指導ができる人になりたいです。

選考プロセスについて

選考の流れは大きく7つのステップで構成されています。
会社訪問は随時受付しておりますので、お気軽にご相談ください。



詳しくはWebサイトの
採用ページをご確認ください。



- ① 個別に会社説明をしております。
- ② 総務部にて書類選考をいたします。
- ③ 論文試験を受けていただきます。
- ④ 面接試験は、役員との面接（1回）となります。

- ⑤ 内々定を通知します。
- ⑥ 10月に内定式・内定者研修を行います。
- ⑦ 配属先をお伝えします。